

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年 12月 18日

公表: 令和6年1月17日

事業所名 放課後等デイサービス 木葉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		・基準通り。 ・1F、2Fと別れて行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	7		・基準通り。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2	・事業所内で対応。 ・必要に応じて配慮する。 ・階段には手すりがある。 ・段差もあるがスタッフ見守りで対応している。	・今の設備の中で人為的に配慮していく。 ・通所されている利用者には合っている。 今後も必要に応じて見守りを行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	・職員間で相談。	・今後も引き続き、広い視野を意識していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		・改善案を提示し、実行。 ・意見を頂き、職員会議で話し合い、次へ繋げている。 ・アンケート後、結果を職員で共有している。	・今後もアンケート結果を基に職員間で話し合い、共有していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		・対応している。 ・毎年公開している。 ・毎年1月にホームページに掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6	・必要に応じて対応している。 ・第三者による評価は行っていない。	・必要に応じて対応。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・希望する研修に参加。 ・研修をし、勉強会にて共有。 ・どの職員も参加したい研修を伝える事ができる。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・相談支援内容を活用。	・個人情報に注意し、職員間でのアセスメントを共有していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		・職員間で相談。 ・相談しながら進めている。 ・誰に何が必要なのか話し合っている。	

## 適切な支援の提供

12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意見を参考。</li> <li>・新しい物や同じ物でも違った使い方をしたりと工夫している。</li> <li>・複数人で意見を出し合い考えている。</li> </ul>	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定表を作成し実行。</li> <li>・活動時間等に応じて課題の設定をしている。</li> <li>・学ぶ時、余暇、課外学習とメリハリをつけている。</li> </ul>	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> <li>・個別支援計画でも反映させている。</li> </ul>	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼、終礼等で確認。</li> <li>・朝礼、ミーティング等その都度確認している。</li> <li>・朝礼以外にも話し合う時間をとることが出来る。</li> </ul>	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務日誌を活用。</li> <li>・必要であれば記録も行う。</li> <li>・その都度確認している。</li> <li>・翌日の朝に情報共有、対応策を話し合っている。</li> </ul>	・今後も職員間で話し合い、続けていく。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動記録票等を活用。</li> <li>・活動記録からモニタリングに反映する。</li> </ul>	・今後も活動記録等を活用し、利用者に合った支援に繋げていく。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護、ミーティング等で随時見直しを行う。</li> </ul>	・継続し、必要な支援をしていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で話し合い。</li> </ul>	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者が参加している。</li> </ul>	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に確認等している。</li> <li>・学校と直接か、保護者を介して連絡調整をしている。</li> <li>・事前に送迎時間計画を学校に渡している。</li> </ul>	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例無し。</li> <li>・医療的ケアが必要な方がいない。</li> <li>・今後、対象者が出る際に整えていく。</li> </ul>	・必要に応じて検討する。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> <li>・必要があれば情報共有をする。</li> <li>・事前の情報として保護者の方からは頂く。</li> </ul>	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> </ul>	・今後も必要に応じて対応していく。

## 関係機関や

保護者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	・対応している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	・地域活動に見学や参加。交流あり。	・今後機会があれば検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7		・参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		・随時、対応。 ・定期的なモニタリング以外にも随時保護者様と共有している。 ・普段伝えあい必要な方は相談支援を行う。 ・送迎時やお迎え時に本人の様子を伝える事もある。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	・必要に応じて対応。 ・相談支援の際に行っている。	・どんな支援を行っているか、どう支援をしたらよいか伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		・随時、対応。 ・契約時に必ず行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		・対応している。 ・相談支援等、それぞれ定期的に必要に応じて行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	・要望があれば対応できるようにしている。	・必要に応じて、父母の会立ち上げを検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		・対応している。 ・窓口を用意し、対応できる準備を整えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		・対応している。 ・ホームページに掲載している。 ・ブログなどインターネットを使い、発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	7		・対応している。 ・ブログに写真を載せる際等、注意している。 (顔をスタンプで隠す等)	

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> <li>・言葉、ジェスチャー、絵等様々な方法で意思疎通を図るようにする。</li> <li>・必要に応じて写真やイラストを使用し、分かりやすく伝えるようにしている。</li> </ul>	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動に見学や参加。</li> <li>・ハロウィンウォーク等に参加し、事業所へ来所頂く機会を作っている。</li> <li>・事業所主体ではないが地域の祭りに参加している。</li> </ul>	・地域活動参加の機会があれば参加していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> </ul>	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を行っている。</li> <li>・利用者と共に場所を確認している。</li> </ul>	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> <li>・外部の研修にも参加している。</li> </ul>	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例無し。</li> </ul>	・必要に応じて、臨時の研修会・勉強会の開催も考えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> <li>・今の所、事例なし。</li> <li>・アセスメントにて情報あり。</li> <li>・保護者様からの聞き取りを行っている。</li> <li>・必要な情報を聞き対応している。</li> <li>・フェイスシートや保護者からの聞き取りにて把握。</li> </ul>	・アレルギーのある利用者については職員間で情報を共有し、対応出来るようにしていく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応している。</li> </ul>		